（1-4　災害を我がことと考えるための取組の強化）

防災教育の促進

○ 自然災害から命を守るためには、行政による公助のみならず、住民一人一人が災害時に適切に避難できる能力を養う必要があり、子どもから家庭、さらには地域へと防災知識等を浸透させる防災教育を推進

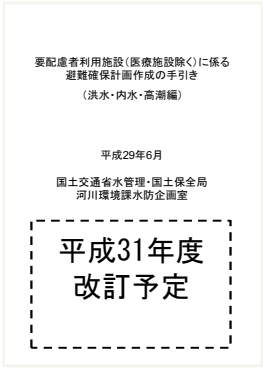
対策の内容・効果

＜大規模氾濫減災協議会における取組＞

指導計画（わかりやすい授業の流れやポイントを整理した計画）等の作成を支援するとともにその成果を全ての学校に共有するこれまでの取組に加えて、以下を実施。

○防災訓練実施に関する事項を含む避難確保計画の作成を促進するため学校に特化した手引きを作成し、協議会において周知。

○手引きに基づき作成された避難確保計画や「水災害からの避難訓練ガイドブック」を踏まえて、学校における避難訓練の実施を支援。



避難確保計画作成の手引き（H29.6）

水災害からの避難訓練ガイドブック（H30.6）

豊田市立元城小学校における避難訓練の様子

＜防災教育支援ツールの整備等＞

○防災教育に取り組む先生方がワンストップで教育素材を簡単に入手出来る防災教育ポータルの充実や防災教育支援ツールの整備を実施。

○地域や学校関係者等の意識向上に向け、子どもの成長や地域への波及効果など、防災教育による効果事例集を作成するとともに、各地方整備局等において防災教育に関するシンポジウムを開催。

防災カードゲーム
「このつぎなにが起きるかな？」
※津波・水害編（H30.2）

防災教育シンポジウム
（中部地方整備局　H30.8）

（1-7　複合的な災害等により人命被害の発生する危険性が高い地域の保全）

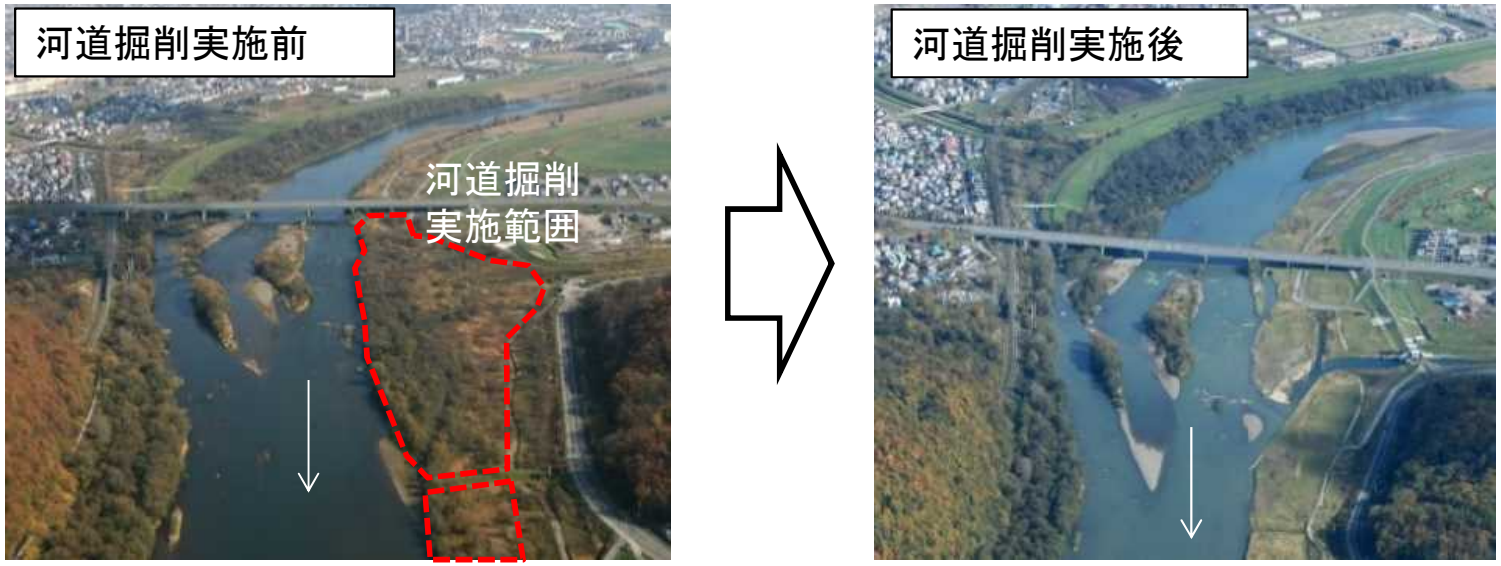
多数の家屋や重要施設等の保全対策

○ 平成30年7月豪雨では、樹木繁茂・土砂堆積及び橋梁等により流下阻害や局所洗掘を起こし、氾濫や施設被災の一因となった。全国には、これらの事象によって、氾濫発生の危険度が高い河川が多く存在している可能性があることから、こうした危険性が高い区域を緊急的に点検したうえで、樹木伐採、河道掘削などの対策を講じることにより危険性を解消する。

対策の内容・効果

樹木繁茂・土砂堆積及び橋梁等による洪水はん濫により、人命被害リスクの高い危険箇所について、樹木伐採、河道掘削などの対策を講じることにより、水位低下を図る。

＜対策イメージ＞



事前防災対策や洪水時の防災対応に役立つWEBサイト

・国土交通省ハザードマップポータルサイト
・地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）
・川の水位情報（危機管理型水位計）

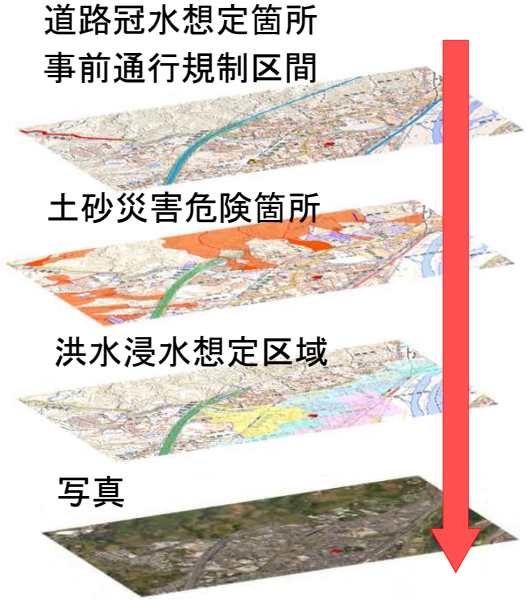
国土交通省作成資料より

国土交通省ハザードマップポータルサイト

〇災害時の避難行動や事前の防災対策等に役立つ情報が閲覧できるポータルサイトを公開。
〇防災に役立つ様々な情報を1つの地図上で重ねて閲覧できる「重ねるハザードマップ」、全国の市町村のハザードマップを閲覧できる「わがまちハザードマップ」の2つで構成。
〇「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく取組として、不動産関連事業者へ水害リスクを説明する中で、当サイトのバナーが関連する協会のHP上に掲載。（一般社団法人全国住宅産業協会）

重ねるハザードマップ

防災に役立つ様々な情報を1つの地図上で重ねて閲覧できます。



わがまちハザードマップ

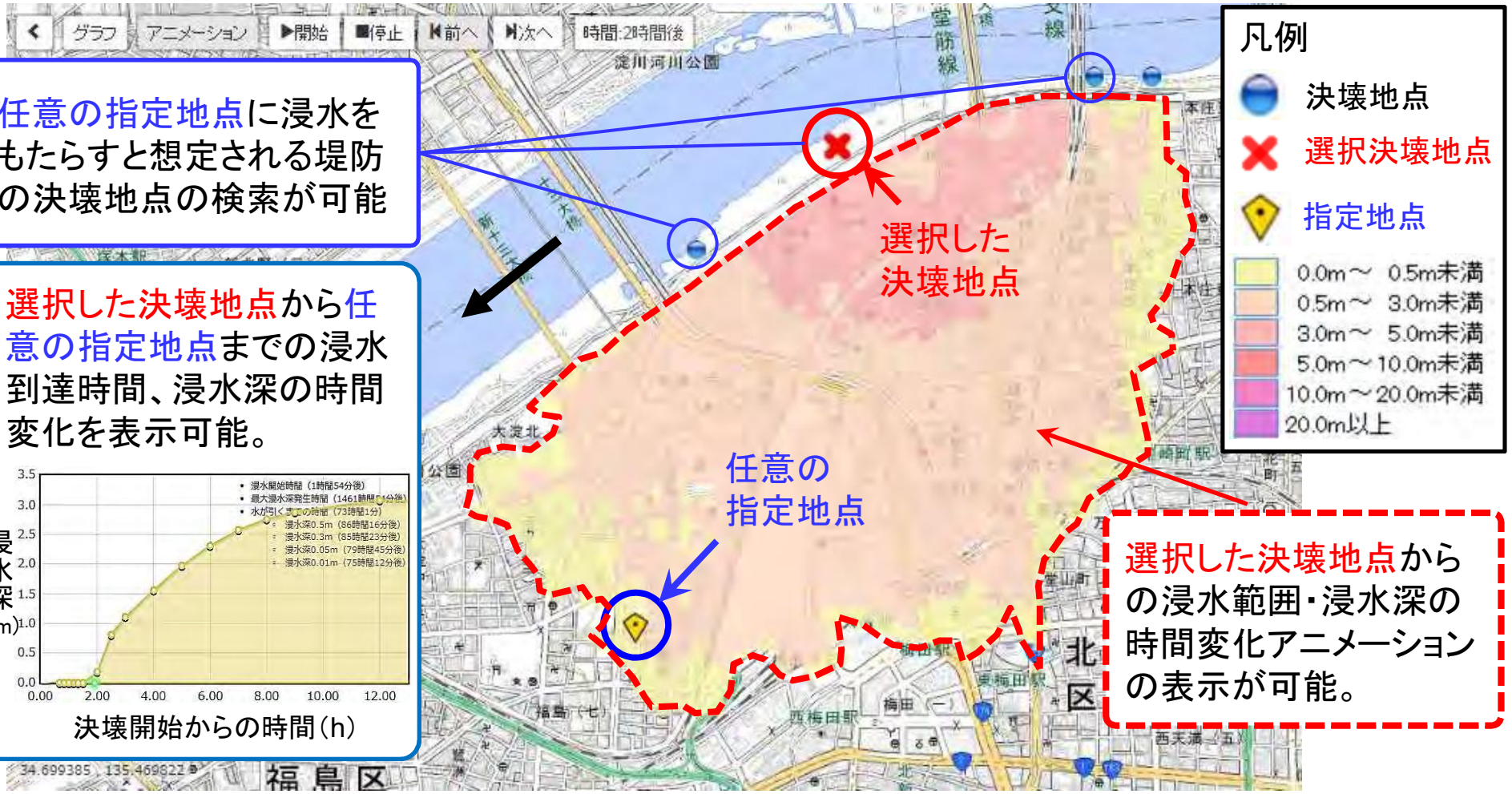
全国の市町村のハザードマップを閲覧することができます。

東京都千代田区
洪水ハザードマップ

国土交通省ハザードマップポータルサイトhttps://disaportal.gsi.go.jp/ ハザードマップ 検索

地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）

○任意の指定地点において、浸水をもたらすと想定される堤防の決壊地点の検索が可能。また、当該指定地点までの浸水到達時間、最大浸水深、浸水深の時間変化等を示すことが可能。



任意の指定地点に浸水をもたらすと想定される堤防の決壊地点の検索が可能

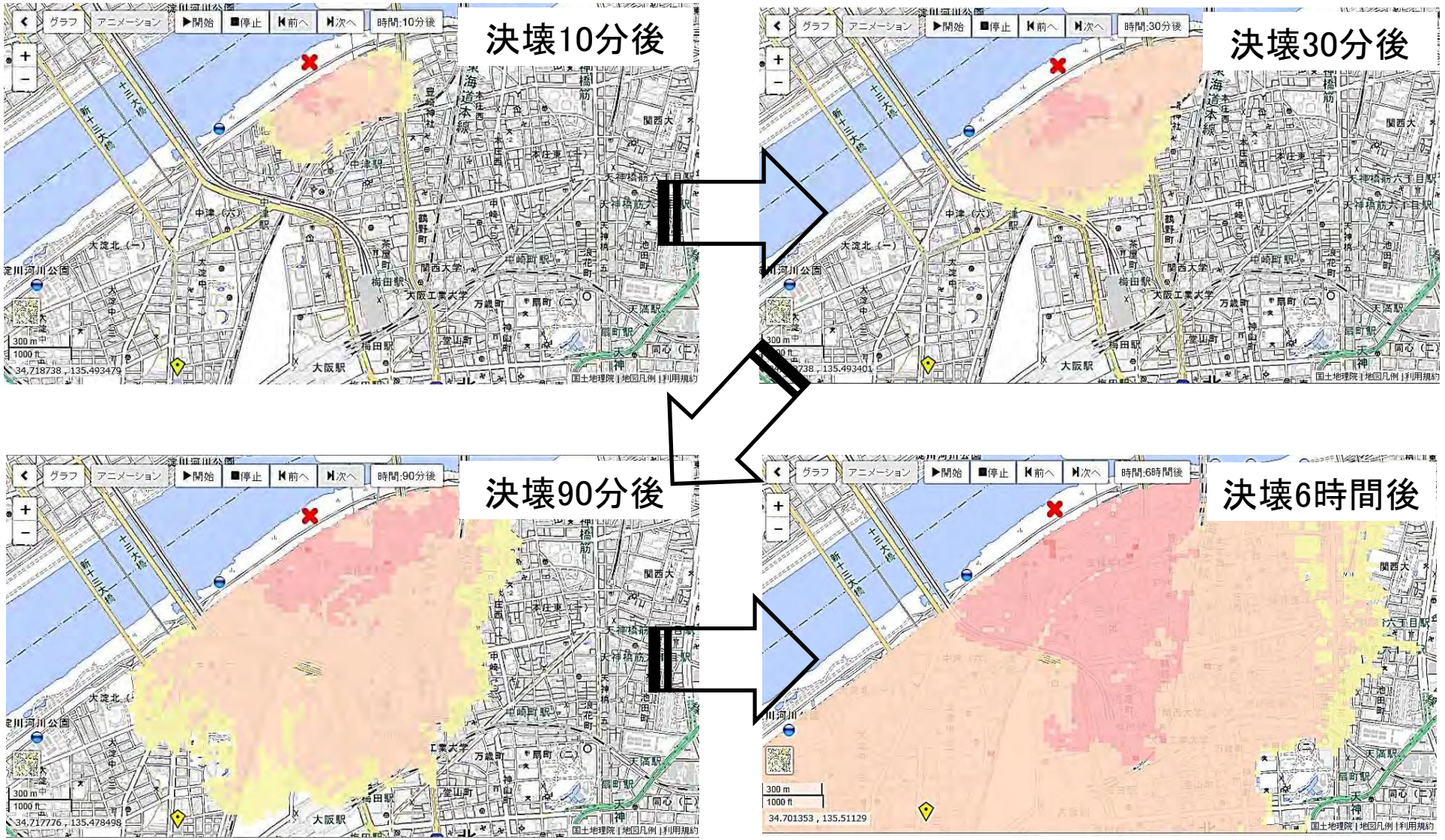
選択した決壊地点から任意の指定地点までの浸水到達時間、浸水深の時間変化を表示可能。

選択した決壊地点からの浸水範囲・浸水深の時間変化アニメーションの表示が可能。

地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ） http://suiboumap.gsi.go.jp/ 浸水ナビ 検索

地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）

＜浸水範囲や浸水深の時間変化アニメーションの表示＞



浸水ナビからわかること

3

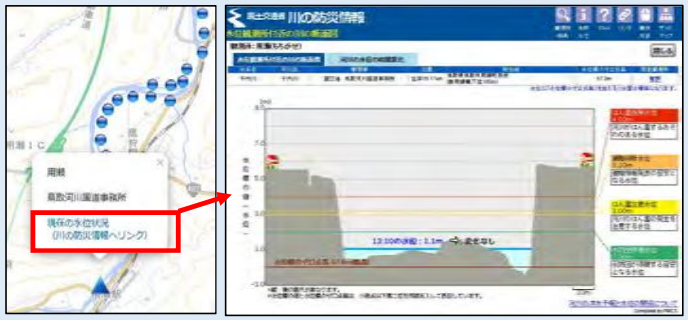
③ 河川の水位情報を知る

- 選定した河川の想定決壊地点と同一画面上に水位観測地点を表示します。河川の水位情報を得ることができます。

➢ 選定した水位観測地点のリアルタイムの河川水位などが「川の防災情報」サイトで確認できます。

※国土交通省「川の防災情報」

https://www.river.go.jp/kawabou/ipTopGaikyo.do



▲ 想定決壊地点周辺の水位観測所（画面中）　河川水位情報の表示（川の防災情報）

④ その他～市町村のハザードマップを見る～

- 想定決壊地点の表示画面から、市町村が公表しているハザードマップへ展開します。

※国土交通省
「ハザードマップポータルサイト」
https://disaportal.gsi.go.jp/

市町村のハザードマップの作成・公表状況により、想定最大規模の外力による洪水ハザードマップが表示されない場合があります。

洪水ハザードマップ（例）

～実際の氾濫状況とは異なる場合があります～

1．想定破堤点の位置や氾濫の規模などについて
シミュレーションでは、一定規模の降雨により堤防が決壊（破堤）した場合に氾濫するおそれがある地点を想定破堤点として示しています。実際に氾濫が起きる場合には、想定破堤点で破堤するとは限りません。また、想定される降雨を超えた大雨となった場合などには、これ以外の箇所からの氾濫が発生したり、氾濫する水の量が増えたりすることにより、浸水域が広く・浸水深が大きくなる可能性もあります。したがって、実際の氾濫の広がり方もこのシミュレーションで表示されるものとは異なる場合があります。

2．想定していない現象があります
シミュレーションでは、内水氾濫（川や海などへ排水できない水が溜まる現象）を想定していません。シミュレーションの対象とした河川が氾濫する前に、内水氾濫やシミュレーション対象外の支川などからの氾濫が始まることがあるので注意が必要です。

地点別浸水シミュレーション検索システム
https://suiboumap.gsi.go.jp/

浸水ナビ
知りたい場所の浸水リスクがわかる

スマートフォンでも利用できます

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室
国土地理院 応用地理部 地理情報処理課

○お問合せ先（国土地理院）
TEL:029-864-1111（代表）
Email:gsi-shinsuicsv@nl.mlit.go.jp

洪水ハザードマップ
周知に関する説明会

『浸水ナビ』
地点別浸水シミュレーション検索システム

～浸水リスク情報をより詳しく、より簡単に～

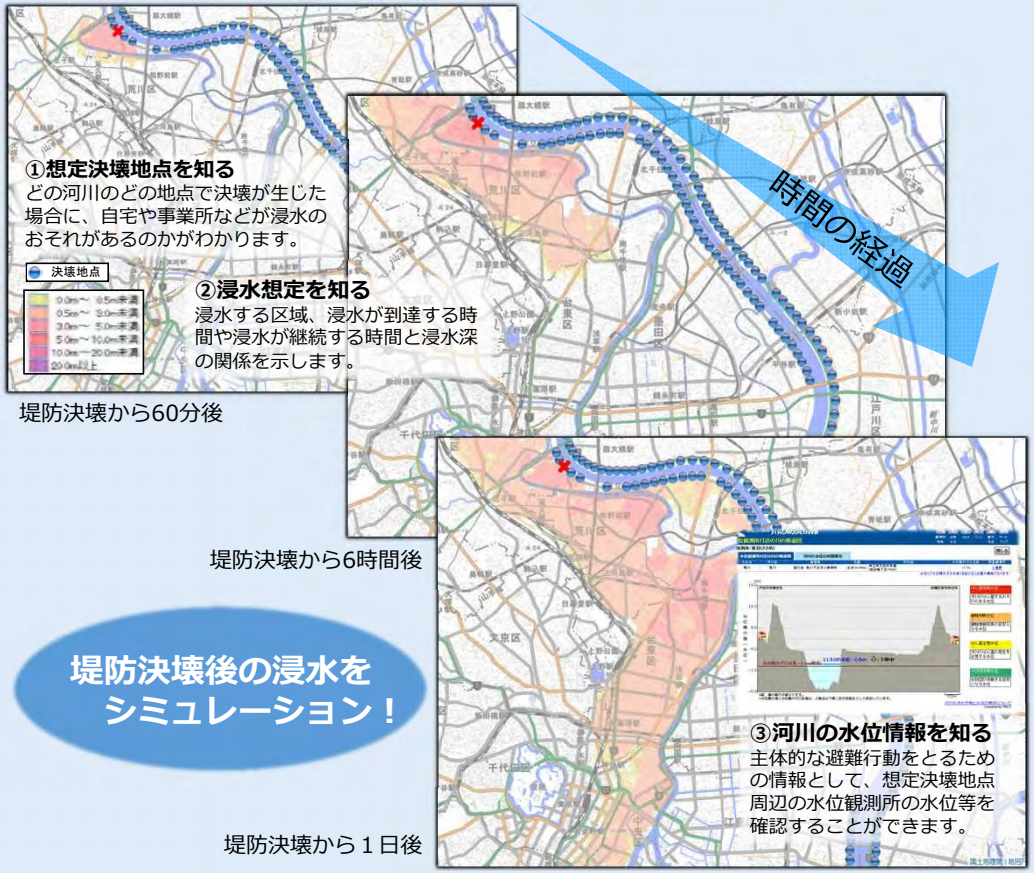
お住まいの地域や事業所、学校、通勤・通学経路などで
想定される浸水のおそれを知ることが、
水害への事前の備えや安全確保の行動につながります。
洪水による浸水被害の軽減をめざし、
「浸水ナビ」は、
浸水リスク情報の取得を強力にサポートします。

Ver. 1.0

浸水ナビとは 1

- 「浸水ナビ」は、国や都道府県が指定する洪水浸水想定区域について、氾濫シミュレーションによって刻々と変化する浸水の状態を地図上に表示するなど、詳細な水害リスク情報をわかりやすく提供するシステムです。
- 堤防の想定決壊（破堤）地点毎に時系列で氾濫が広がっていく状況や任意の指定地点で浸水深が大きくなっていく状況等をアニメーションなどの視覚的に示す機能をＷｅｂサイトで公開し、どなたでも簡単に利用できます。
- 市町村が行う防災計画の検討や住民の皆様の主体的な避難行動への準備、企業等が取り組む浸水対策など、様々な主体が、より詳細な水害リスク情報の得ることにより、水害への備えの強化与が期待されます。

▼浸水ナビからわかること



堤防決壊後の浸水をシミュレーション！

国直轄河川（109水系）を掲載

※都道府県管理河川については、順次拡大中

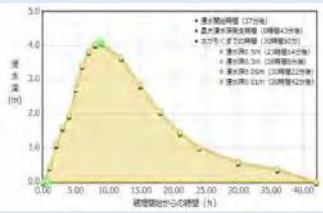
浸水ナビからわかること 2

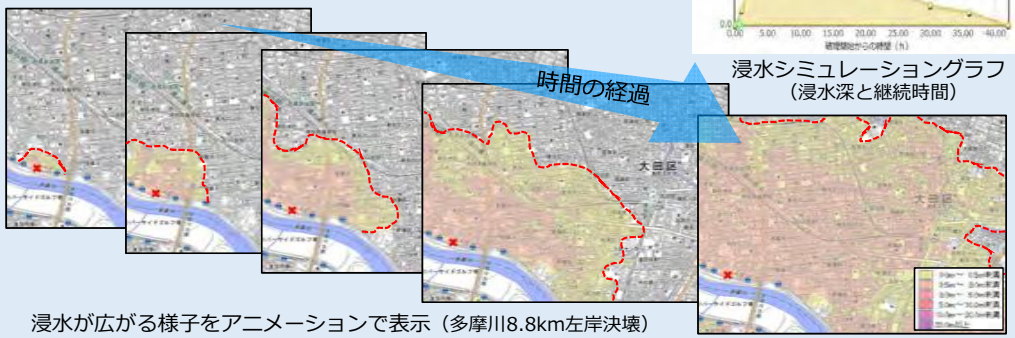
① 想定決壊地点を知る

- **個々の居住地や事業所など任意の地点に大きな影響に与える浸水は、どの河川のどこが決壊した場合に想定されるのかを示します。**
  - 特定の河川名で検索すると、当該河川の所定の区間のすべての想定決壊地点を表示します。
  - 特定の地点・住所・地名から、当該地点等に影響を与える想定決壊地点を検索します。（逆引き検索）

② 浸水想定を知る

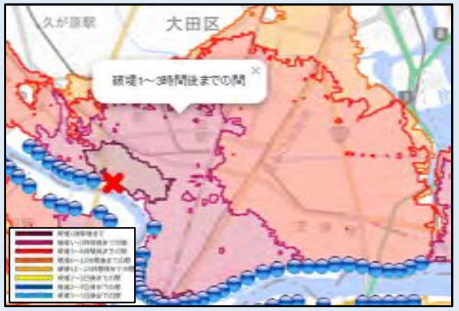
- **想定決壊点を選ぶと、そこから氾濫が生じた場合の浸水区域や浸水の到達時間、継続時間と浸水深の変化を示します。**
  - 選択した想定決壊地点から氾濫した場合の浸水の広がりを地図上に示すほか、任意の指定地点の浸水深の時間変化をグラフで表示します。



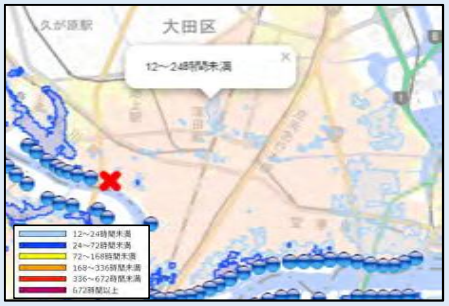


浸水が広がる様子をアニメーションで表示（多摩川8.8km左岸決壊）

  - 選択した想定決壊地点から氾濫が生じた場合に想定される浸水区域での浸水の到達時間や継続時間を地図上に色を分けて表示します。



浸水到達時間（表示画面）



浸水継続時間（表示画面）